

会計名							担当部	建設部	
一般会計			市道01-4号線他道路新設改良事業				担当課	道路建設課	
款	項	目					担当係	道路整備第2係	
8	2	3							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	既存道路の拡幅整備や、県道岡崎豊明線から主要地方道名古屋岡崎線までの道路整備を行うことで、歩行者の安全と円滑な交通を確保する。				主たる内容	市道01-4号線（起点：井ヶ谷町池之浦～終点：今川町交差点）の道路整備 延長 3,200m 幅員 13.5～15.0m （両側歩道 幅員 2.5～3.5m）		
	位置づけ	関連計画 刈谷市都市計画マスタープラン、刈谷市都市交通戦略 根拠法令 道路法							
	対象者	市民		事業期間	平成11年度～令和12年度				
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO実績 実施V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・道路新設改良工事 276m ・用地取得 878㎡ （R1線越分） ・橋りょう工事 1橋 ・用地取得 281㎡		・道路新設改良工事 222m （R2線越分） ・用地取得 80㎡ ・橋りょう工事 1橋		・道路新設改良工事 20m ・用地取得 120㎡		・交差点改良工事 1箇所 ・道路新設改良工事 20m （R4線越分） ・道路新設改良工事 20m ・用地取得 120㎡	
		成果	道路新設改良工事を実施し、道路整備の進捗を図ることができた。						
課題		道路管理者や河川管理者との継続的な協議を実施し、計画的な事業進捗を図る必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		道路用地の面積取得率（％）			96.6	97.4	97.4	100.0	100.0
活動指標		道路整備率（％）			84.9	91.9	91.9	93.1	93.8
他市との比較検証									
C事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費①		504,329	639,245	45,119	231,705	合計	45,119,144円	
	財源	特定財源	415,334	490,770	23,545	152,062	需用費	5,200円	
		一般財源	88,995	148,475	21,574	79,643	工事請負費	33,367,400円	
	職員人件費②		16,276	13,779	7,755	7,272	補償、補填及び賠償金	11,746,544円	
	総事業費（①+②）		520,605	653,024	52,874	238,977			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		都市交通施設整備基金 前年度繰越金					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			市道01-4号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	当該路線は国道1号線と連絡する重要な路線であり、交通量が多い上に大型車の混入率が高い。また一部区間は通学路として利用されている。しかし、車線幅員や歩道幅員が狭く、交差点で慢性的な交通渋滞が発生しているため、交通の円滑化と安全性の向上を図る必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	社会資本整備総合交付金を活用することで、建設コストの低減に努めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	ゆとりある暮らしを支える生活基盤として、道路の拡幅整備や交差点改良を行うことで、交通安全や生活利便性の向上を図るとともに企業の産業活動を促進する。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	道路の整備は、県道岡崎豊明線との交差点改良、及びバイパス区間は道路の拡幅が完了しており、交差点の渋滞緩和と旧道沿線地区の良好な住環境の形成（騒音や交通安全確保）に一定の効果がある。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
	今川町交差点について道路工事を進める。				

会計名		市道01-40号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計						担当課	道路建設課		
款	項					目	担当係	道路整備第1係	
8	2					3			
PLAN概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	バイパス機能を持った幹線道路を整備することにより、慢性的な交通渋滞を緩和し、市街地に流入する通過交通を抑制する。	主たる内容	市道01-40号線（起点：中手町3丁目～終点：熊野町6丁目）の道路整備 延長 1,600m 幅員 12.0～15.5m					
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン、刈谷市都市交通戦略						
		根拠法令	道路法						
	対象者	市民	事業期間	平成11年度～令和15年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O A 実 施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋りょう下部工工事 2基</li> <li>・工事中仮設道路工事(その3)</li> <li>・逢妻川護岸工事 (R1線越分)</li> <li>・JR調査協定</li> <li>・橋りょう下部工工事 2基</li> <li>・工事中仮設道路工事(その2)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋りょう下部工工事 1基</li> <li>・道路改良工事(附帯工)</li> <li>・道路橋梁予備設計委託 (R2線越分)</li> <li>・工事中仮設道路工事(その3)</li> <li>・逢妻川護岸工事</li> <li>・逢妻川護岸工事(その2)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR工事委託協定の締結(継続費R4～R7)</li> <li>・橋りょう上部工製作(継続費R4～R7)</li> <li>・道路改良工事(附帯工)</li> <li>・用地整地工 (R3線越分)</li> <li>・橋りょう下部工工事 1基</li> <li>・道路橋梁予備設計委託</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR工事委託(橋りょう下部工工事) 2基(継続費R4～R7)</li> <li>・橋りょう上部工製作(継続費R4～R7)</li> </ul>	
成果		JR工事委託協定を締結して事業の進捗を図ることができた。また、計画通り橋りょう上部工を発注した。							
課題		国道155号北側において、河川協議など関係機関との協議を進める。							
A 実 施 V	指標名称(単位)				実績値		目標値		
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度
	活動指標	道路整備率(%)			12.7	12.7	13.5	15.1	17.5
活動指標									
他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト V	単位：千円		2年度(決算)	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(予算)	4年度事業費内訳		
	事業費①		330,425	299,611	166,662	568,693	合計	166,661,895円	
	財源	特定財源	261,631	257,711	137,854	538,733	委託料	33,721,689円	
		一般財源	68,794	41,900	28,808	29,960	使用料及び賃借料	802,606円	
	職員人件費②		8,810	9,388	8,357	7,807	工事請負費	132,137,600円	
	総事業費(①+②)		339,235	308,999	175,019	576,500			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金 前年度繰越金 都市交通施設整備基金					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			市道01-40号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	市街地における交通渋滞が慢性化していることから、南北地区間の移動に時間を要している。また通過車両が生活道路に流入し、生活道路の交通安全の確保が危惧される状況であるため、これらの対策を講じる必要性が高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	長期的な展望から、（仮）南北縦貫道路の一部区間の整備を行い、将来的な道路網を形成するため、広く市民からの理解を得て事業を推進する。また、社会資本整備総合交付金を活用して道路整備を進める。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	バイパス機能を持つ道路整備を行うことで、交通の円滑化や市街地内の渋滞が緩和され、地域間の交流が活発になる。また市民の身近な道路の安全性が確保されることで、良好な住環境が提供できる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	道路整備により、既存の幹線道路の混雑緩和と生活利便性の向上が期待できる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
JR工事委託協定に基づき、JRが施工する工事について関係機関との調整および進捗管理を実施する。 また、橋りょう上部工の施工管理と道路設計を進める。					

会計名			担当部				建設部		
一般会計			担当課				道路建設課		
款	項	目	担当係				道路整備第1係		
8	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	県道宮上知立線の整備に伴い設置される交差点に接続する道路を整備することにより、県道に分断される地区の安全及び利便性を確保する。			主たる内容	市道02-5号線他（起点：一里山町伐払～終点：一里山町南本山）の道路整備 延長 2,300m 幅員 6.0～13.0m			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	道路法						
		対象者	市民		事業期間	平成26年度～令和10年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O 実績 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		(R1繰越分) ・用地測量 ・道路詳細修正設計		(R2繰越分含む) ・道路新設改良工事 775m ・用地取得 6,775㎡		・道路新設改良工事 50m ・用地取得 724㎡ ・道路修正設計 1式 (R3繰越分) ・道路新設改良工事 510m ・用地取得 337㎡		・道路新設改良工事 240m ・用地取得 1,056㎡ (R4繰越分) ・道路新設改良工事 310m ・用地取得 2,226㎡	
成果		道路設計を行い、関係者と協議を進めることができた。 土地所有者との協議を行い、用地取得を行い工事を発注することができた。							
課題		道路整備を進めるため、地権者交渉及び関係機関協議をすみやかに行う。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標	道路用地の面積取得率（％）			7.3	58.7	71.7	99.3	100.0	
活動指標	道路整備率（％）			—	0.0	28.3	52.2	83.5	
他市との比較検証									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費①		16,960	367,436	435,613	378,945	合計 435,613,055 円		
	財源	特定財源	16,960	256,159	376,129	267,771	需用費 24,100 円		
		一般財源	0	111,277	59,484	111,174	委託料 9,773,511 円		
	職員人件費②		9,855	18,321	23,792	23,192	使用料及び賃借料 1,702,249 円		
	総事業費（①+②）		26,815	385,757	459,405	402,137	工事請負費 392,162,100 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		都市交通施設整備基金 前年度繰越金					
6年度以降の事業費見込		0		公有財産購入費 26,180,677 円 補償、補填及び賠償金 5,770,418 円					

会計名			市道02-5号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	県道宮上知立線により分断される地区の利便性及び安全を確保に必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	県道整備の事業進捗に合わせて、用地購入、道路整備を進めていくため、効率的な事業進捗が図れる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	市民生活の利便性及び安全を確保するため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	県道宮上知立線により分断される地区の往来が可能となる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
市民の利便性を確保するため、必要となる市道を整備し、交通の円滑化を図る必要がある。					

会計名			市道02-14号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備第2係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	県道今川刈谷停車場線から一般廃棄物処理場へのアクセス道路として整備を行うとともに、泉田地区の幹線道路として周辺住民の利便性を向上させる。	主たる内容	市道02-14号線（起点：泉田町折戸～終点：泉田町南新田）の道路整備 延長 1,840m 幅員 12.0m						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民	事業期間	～ 令和7年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
				・道路詳細設計 ・用地管理工事 ・用地取得 1,286㎡		・用排水路整備工事 360m（R3繰越分） ・道路詳細設計		・道路新設改良工事 160m（R4繰越分） ・用排水路整備工事 360m		
成果		道路整備に伴う用排水路整備工事を行い、事業の進捗を図ることができた。								
課題		道路整備を進めるため、地権者や耕作者と調整を行う必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標		道路用地の面積取得率（％）			77.2	100.0	—	—	—	
活動指標		道路整備率（％）			76.1	76.1	76.1	76.1	100.0	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	63,048	21,252	142,368	合計	21,252,000 円		
	財源	特定財源	0	0	21,252	103,962	委託料	21,252,000 円		
		一般財源	0	63,048	0	38,406				
	職員人件費 ②		0	2,309	4,216	3,521				
	総事業費（①+②）		0	65,357	25,468	145,889				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	4年度特定財源名称					
4年度までの累積事業費		0	前年度繰越金							
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道02-14号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	不燃物処理場へ向かうアクセス道路で、泉田地区内の主要な道路となり、市民の利便性向上に重要な道路である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	整備効果を早急に発揮できるよう、整備必要期間を可能な限り短くするよう調整を行う。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	市民生活の利便性及び安全を確保するため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	不燃物処理場利用者及び地域住民の利便性が向上すると共に、安全で円滑な交通が確保できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
早期供用開始が可能となるよう、関係機関との協議を行い、道路工事を進める。					

会計名 一般会計			市道2-485号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
款	項	目					担当課	道路建設課		
8	2	3					担当係	道路整備第2係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	道路を拡幅し歩道を設置することにより、歩行者の安全確保及び地域の住環境の向上を図る。	主たる内容	市道2-485号線（起点：銀座5丁目～終点：銀座4丁目）の道路整備 延長 212m 道路幅員 10.0m 車道幅員 7.0m 歩道幅員（片側） 3.0m 電線類地中化						
	位置づけ	関連計画		刈谷市中心市街地まちづくり基本計画、刈谷市無電柱化推進計画						
			根拠法令	道路法、無電柱化の推進に関する法律、電線共同溝の整備等に関する特別措置法						
		対象者	市民	事業期間	平成13年度～令和5年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・電線類地中化工事 120m（R1線越分） ・道路新設改良工事 130m		（R2線越分） ・電線類地中化工事 90m		・道路新設改良工事 190m		・道路新設改良工事 300m		
成果		道路新設改良工事を行い、事業の進捗を図ることができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標	道路整備率（％）			39.3	50.0	75.0	100.0	100.0		
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費①		96,680	107,844	112,652	96,400	合計 112,651,731円			
	財源	特定財源	64,107	70,441	65,001	53,000	委託料 495,000円			
		一般財源	32,573	37,403	47,651	43,400	工事請負費 101,156,000円 補償、補填及び賠償金 11,000,731円			
	職員人件費②		6,421	5,981	3,463	2,679				
	総事業費（①+②）		103,101	113,825	116,115	99,079				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金 都市交通施設整備基金						
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道2-485号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	生活道路を拡幅し、歩道を分離することにより、歩行者・自動車が安全に通行できる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	両側拡幅ではなく、南側拡幅とすることで、物件補償費が軽減できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	市民生活を安全かつ快適にするため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	道路拡幅により、一方通行であった路線を交互通行とすることができるため、利用者の利便性が向上する。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止		

会計名 一般会計			市道2-496号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	道路整備第2係	
PLAN 事業概要 計画 位置づけ	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	歩道・自転車道の整備						
	目的	道路拡幅し歩道を設置することにより、歩行者の安全確保及び地域の住環境の向上を図る。	主たる内容	市道2-496号線（起点：銀座4丁目～終点：新栄町7丁目）の道路整備 延長 360m 幅員 15.0m 車道幅員 7.0m 歩道幅員（両側） 4.0m					
	関連計画	刈谷市中心市街地まちづくり基本計画、刈谷市無電柱化推進計画							
	根拠法令	道路法、無電柱化の推進に関する法律、電線共同溝の整備等に関する特別措置法							
	対象者	市民	事業期間	平成15年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・電柱抜柱跡復旧工事		_____		・道路新設改良工事 60m		_____	
成果		用地の影響範囲を除き、整備を完了することができた。							
課題		未買収の用地がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標	道路用地の面積取得率（％）		94.4	94.4	94.4	94.4	94.4		
活動指標	道路整備率（％）		88.6	88.6	89.4	89.4	89.4		
他市との比較検証	_____								
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,392	0	9,497	0	合計	9,497,400 円	
	財源	特定財源	0	0	4,000	0	工事請負費	9,497,400 円	
		一般財源	1,392	0	5,497	0			
	職員人件費 ②		971	0	1,355	0			
	総事業費（①+②）		2,363	0	10,852	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		都市交通施設整備基金					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			市道2-496号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	道路を拡幅し、歩道設置、電線類の地中化を行うことにより、交通安全の確保、市民生活の利便性が向上する。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	道路整備に合わせて、電線類の地中化を図るため、効率的に事業進捗を図るとともに経費の節減が図られる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	市民生活を安全かつ快適にするため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	電線類地中化を行うことで良好な歩行空間が確保され、市民が利用しやすい道路とすることで、中心市街地の活性化・地域生活基盤の向上が図られる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
引き続き、地権者交渉を進める。					

会計名			市道3-347号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備第2係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	工業用地の基盤となる道路整備を行うことで、企業立地の促進を図る。		主たる内容	市道3-347号線他（起点：野田町新田～終点：野田町大流）の道路整備 延長 620m 幅員 9.0m					
	位置づけ	関連計画 刈谷市都市計画マスタープラン、企業立地推進ビジョン								
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民	事業期間	平成28年度～令和5年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・道路新設改良工事 200m （R1線越分） ・用地取得 288㎡		（R2線越分） ・道路新設改良工事 200m		・道路新設改良工事 110m		・道路新設改良工事 200m （R4線越分） ・道路新設改良工事 110m		
成果		道路新設改良工事を行い、事業の進捗を図ることができた。								
課題										
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		道路用地の面積取得率（％）				100.0	—	—	—	—
活動指標		道路整備率（％）				17.7	50.0	67.7	100.0	100.0
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費①		35,106	54,958	0	176,000	合計 0円			
	財源	特定財源	8,347	54,958	0	127,000				
		一般財源	26,759	0	0	49,000				
	職員人件費②		6,794	2,196	3,840	3,521				
	総事業費（①+②）		41,900	57,154	3,840	179,521				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0								
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道3-347号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	工場立地に必要な基盤をつくるため、道路整備の必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	工場立地可能な必要最小限の整備区間にしている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	工場立地を円滑に誘導するには、市が主体となって整備する必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	道路整備により工場立地が可能となり、工場用地が確保できる。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止		

会計名		市道3-928号線他道路新設改良事業				担当部	建設部			
一般会計						担当課	道路建設課			
款	項					目	担当係	事業推進係		
8	2					3				
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	愛知県が施工する県道小垣江安城線の周辺道路を整備することにより、県道により分断される地区の利便性及び安全性を確保する。		主たる内容	市道3-928号線（起点：小垣江町東高根～終点：小垣江町東山田）の道路整備 延長 270m 幅員 6.0～12.6m					
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民	事業期間	平成30年度～令和8年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・用地取得 2,430㎡		・道路予備設計（R2線越分） ・用地取得 2.7㎡		・道路詳細設計 ・用水詳細設計負担金（R3線越分含む） ・用地取得 1,594㎡		・明治用水移設負担金（R4線越分） ・用地取得 50㎡		
成果		県道関連の用地買収を進めることができた。 用水管の移設に関する協議を進めることができた。								
課題		用地交渉を進め、道路整備について計画通り進める必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度			
活動指標	道水路用地の面積取得率（％）		58.9	60.3	98.8	100.0	—			
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト V	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費①		78,657	9,301	63,854	25,859	合計 63,853,742円			
	財源	特定財源	16,562	141	41,989	15,059	需用費 27,500円			
		一般財源	62,095	9,160	21,865	10,800	委託料 10,158,742円			
	職員人件費②		2,315	3,672	8,583	2,832	公有財産購入費 48,664,700円			
	総事業費（①+②）		80,972	12,973	72,437	28,691	負担金、補助及び交付金 5,002,800円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		前年度繰越金 公共補償金収入						
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道3-928号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	県道小垣江安城線整備により分断される地区の利便性及び安全性を確保するため必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	県道整備の事業進捗に合わせて、用地購入、工事を進めていくため、効率的な事業進捗が図れる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	市民生活の利便性及び安全を確保するため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	道路整備により、県道整備で分断された地区の往来が可能になる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
県道小垣江安城線の事業進捗状況にあわせて、用地取得、道路整備を進めていく。					

会計名			市道01-41号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備第2係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	スマートインターチェンジの整備に合わせた道路整備を行うことで、産業の生産性向上、交通渋滞の緩和、周辺地域の活性化、観光振興、防災機能の強化を図る。	主たる内容	市道01-41号線（起点：東境町石神～終点：東境町松ヶ枝）の道路整備 延長 1,900m 幅員 5.5～30.0m						
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン							
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民	事業期間	平成29年度～令和4年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・道路新設改良工事 420m ・用地取得 300㎡ （R1線越分） ・橋りょう工事 1橋 ・道路新設改良工事 270m ・用地取得 100㎡		・道路新設改良工事 580m （R2線越分） ・橋りょう工事 1橋 ・道路新設改良工事 420m ・ため池改修工事 1箇所		（R3線越分） ・開設関連業務 1式		_____		
成果		令和4年3月までの完成に向けて計画的に工事を進め、予定通り事業完了した。								
課題										
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度			
活動指標		道路整備率（％）		47.4	100.0	—	—	—		
活動指標										
他市との比較検証		県内でのスマートIC箇所（実施中含む） ・豊田市（鞍ヶ池、豊田上郷） 名古屋市（守山） 日進市（東郷） 岡崎市（岡崎阿知和） 豊橋市（豊橋新城）								
C 事業 コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費①		810,105	1,480,094	3,056	0	合計	3,055,580円		
	財源	特定財源	680,154	1,192,419	3,056	0	委託料	2,615,580円		
		一般財源	129,951	287,675	0	0	工事請負費	440,000円		
	職員人件費②		21,129	18,473	678	0				
	総事業費（①+②）		831,234	1,498,567	3,734	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		前年度繰越金						
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道01-41号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	<p>本地域周辺は、日本の経済を牽引する自動車関連産業の大規模工場の集積地であり、この地域を通る幹線道路では、交通集中による慢性的な渋滞が発生し、物流交通や市民の生活活動を阻害しているため、スマートICを整備することで、道路環境を改善する。</p>
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	<p>ICアクセス道路の整備に対する国の補助事業を活用することで、建設コストの低減に努めている。</p>
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	<p>現在供用している市道や公園内の通路を改良し、スマートICのアクセス道路を整備することで、事業の早期実現を目指し、地域間交通流動の円滑化や交通渋滞の緩和を促進する。</p>
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	<p>高速ネットワークへの到達圏域が拡大することにより周辺地域が活性化され、産業生産性の向上、大型車減少による生活環境の向上、救援物資輸送や地域防災性が向上する効果がある。</p>
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止		

会計名 一般会計			市道02-31号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	事業推進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	依佐美地区工業用地の造成に伴い必要となる周辺道路を整備することにより、歩行者及び通学生徒への安全確保と交通の円滑化を図る。			主たる内容	市道02-31号線（起点：半城土町庚申塚～終点：小垣江町上沢渡）の道路整備 延長 870m 幅員 11.7～14.0m 交差点改良 2箇所 （庚申塚交差点、半城土大組交差点）			
	関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン、企業立地推進ビジョン							
	位置づけ	根拠法令	道路法						
	対象者	市民			事業期間	平成29年度～令和4年度			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・交差点改良工事 2箇所		・交差点改良工事 1箇所		(R3繰越分) ・交差点改良工事 1箇所		—	
成果		交差点改良工事を実施し、概ね計画通り整備を進めることができた。							
課題		—							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標	道路用地の面積取得率（％）			86.7	95.6	100.0	—	—	
活動指標	道路整備率（％）			12.3	99.0	100.0	—	—	
他市との比較検証	—								
C 事業コスト V	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		66,497	134,009	23,014	0	合計	23,014,200 円	
	財源	特定財源	51,313	101,472	23,014	0	工事請負費	23,014,200 円	
		一般財源	15,184	32,537	0	0			
	職員人件費 ②		2,539	3,710	828	0			
	総事業費（①+②）		69,036	137,719	23,842	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		前年度繰越金					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			市道02-31号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	刈谷依佐美地区工業用地造成により増加する交通の円滑化と歩行者の安全を確保するため必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	企業庁と連携して整備を進めるため、効率的な事業推進ができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	工業団地整備に必要な道路整備は、工業団地整備を推進している市が行うことが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	工業団地整備を推進し、企業立地を促進させるため必要な事業である。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止		

会計名 一般会計		都市計画道路3・4・551刈谷環状線電				担当部	建設部	
款 項 目 8 4 3		線類地中化事業				担当課	道路建設課	
						担当係	道路整備第2係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境					
		基本施策	道路・交通					
		施策の内容	歩道・自転車道の整備					
	目的	歩道内の電線類を地中に埋設することで、安全で快適な歩行空間を確保するとともに、発災時における緊急輸送道路としての機能を確保する。			主たる内容	都市計画道路刈谷環状線（起点：高松町1丁目～終点：住吉町3丁目）の道路整備 延長 474m 幅員 15.0m 電線類地中化 バリアフリー化		
	位置づけ							
	関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン、刈谷市無電柱推進計画						
	根拠法令	道路法、電線共同溝整備等に関する特別措置法、無電柱化の推進に関する法律、都市計画法						
	対象者	市民		事業期間	平成25年度～令和5年度			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画
・電線類地中化工事 175m		・電線類地中化工事 125m		(R3繰越分) ・電線類地中化工事 209m		(R4繰越分) ・道路舗装工事 510m		
成果		各電線管理者等と協議し、道路整備を行い、電線類地中化及びバリアフリー化率の進捗を図ることができた。						
課題								
指標名称（単位）				実績値		目標値		
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度
活動指標	電線類地中化・道路整備率（％）			66.4	75.2	90.0	100.0	100.0
指標								
他市との比較検証								
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費①		175,410	117,634	162,642	65,256	合計	162,641,600円
	財源	特定財源	107,136	74,490	145,973	65,256	委託料	30,669,100円
		一般財源	68,274	43,144	16,669	0	工事請負費	131,972,500円
	職員人件費②		3,957	4,164	3,990	3,062		
	総事業費（①+②）		179,367	121,798	166,632	68,318		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称		
4年度までの累積事業費		0		前年度繰越金 都市交通施設整備基金繰入金 無電柱化推進事業費補助金				
6年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			都市計画道路3・4・551刈谷環状線電 線類地中化事業		担当部	建設部
款	項	目			担当課	道路建設課
8	4	3			担当係	道路整備第2係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	電線類地中化は、緊急輸送道路の機能確保及び歩行者の安全で快適な歩行空間を確保する上で必要である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	電線類地中化に合わせて、歩道のバリアフリー化を実施することでコストの縮減を行い、効率的な事業進捗を図るとともに経費の節減が図られる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	道路の改良事業であるため、道路管理者が行うべき公共性の高い事業である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	電線類地中化を行うことで良好な歩行空間が確保され、市民が利用しやすい道路とすることができる。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止			

会計名		ウイングデッキ整備事業				担当部	建設部		
一般会計						担当課	道路建設課		
款	項					目	担当係	事業推進係	
8	4					3		道路整備第2係	
PLAN概要 位置づけ	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	歩道・自転車道の整備						
	目的	刈谷市中心市街地まちづくり基本計画に基づく刈谷駅周辺の「人を引き寄せる回遊と賑わいのあるまちづくり」に向けて、安全で快適な歩行空間を形成する。		主たる内容	横断歩道橋整備 1箇所 南北連絡通路延伸整備 1箇所				
	関連計画	刈谷市中心市街地まちづくり基本計画							
	根拠法令	道路法、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律							
	対象者	市民		事業期間	令和2年度 ~ 令和8年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B事業実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・愛知県が整備する横断歩道橋への負担金		（R2繰越分含む） ・愛知県が整備する横断歩道橋への負担金		・市が整備するウイングデッキの詳細設計（R3繰越分含む） ・愛知県が整備する横断歩道橋への負担金		・借地契約の締結（R4繰越分含む） ・愛知県が整備する横断歩道橋への負担金 ・市が整備するウイングデッキの詳細設計	
成果		関係者と協議を行い、事業の進捗が図ることができた。 桜町横断歩道橋が完成し供用開始できた。							
D実績	課題	道路整備を進めるため、関係者との協議を行う必要がある。							
O実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度
	活動指標	ウイングデッキ（横断歩道橋）整備（橋）			0	0	1	1	1
	活動指標								
他市との比較検証									
C事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		5,330	284,040	226,892	129,088	合計 226,892,297 円		
	財源	特定財源	0	189,202	193,546	129,049	委託料 951,500 円		
		一般財源	5,330	94,838	33,346	39	負担金、補助及び交付金 225,940,797 円		
	職員人件費 ②		821	1,666	6,626	4,899			
	総事業費（①+②）		6,151	285,706	233,518	133,987			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		都市構造再編集集中支援事業費補助金、都市交通施設整備基金、前年度繰越金、式典支援金					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			ウイングデッキ整備事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	4	3			道路整備第2係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	バリアフリー経路として指定されていることから、誰もが安全に快適に移動できる空間を確保する必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	愛知県や民間整備と連携することで、整備効果をより効率よく発揮できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	各種計画に位置付けられた施設であり、市が優先し主体となって進める必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	安全で快適な歩行空間の確保が可能となる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
民間との事業進捗を調整し、遅れが出ないように事業進捗を図る。					

会計名 一般会計			道路用地等管理事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	道路整備第2係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境			主たる内容	取得した用地を整備実施するまでの期間、定期的に草刈を行う。また、必要に応じ安全面を考慮して碎石の敷均しを行う。		
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	取得済み道路用地等の草刈り、碎石敷均し等を行い安全面等の維持管理を図る。							
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者				事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・道路事業用地管理（除草、碎石敷均し）		・道路事業用地管理（除草、碎石敷均し）		・道路事業用地管理（除草、碎石敷均し、防草シート整備）		・道路事業用地管理（除草、碎石敷均し）	
成果		道路用地として取得した土地の維持管理が適切に行われている。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		4,466	5,962	11,972	8,848	合計	11,972,400 円	
	財源	特定財源	1,095	691	38	1	委託料	7,315,000 円	
		一般財源	3,371	5,271	11,934	8,847	工事請負費	4,657,400 円	
	職員人件費 ②		373	1,037	1,468	1,339			
	総事業費（①+②）		4,839	6,999	13,440	10,187			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			道路調査事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	事業推進係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境			主たる内容	各整備候補路線の基本的検討を行う。			
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	総合交通対策の推進							
	目的	整備が必要な道路の基礎的調査を行い、交通の円滑化と安全を確保する。								
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン							
		根拠法令	道路法							
	対象者	市民		事業期間	～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
						市道01-36号線予備設計		（都）刈谷環状線（市道01-36号線）電線類地中化予備設計 （都）逢見線電線類地中化等予備設計 （R4繰越分） 市道01-36号線予備設計		
成果		各種検討を行い、今後の事業の進め方を検討することができた。								
課題		信号設置に関する警察協議に時間がかかったため、予備設計について令和5年度も継続検討を行う。								
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
	活動指標									
	活動指標									
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	8,142	29,558	合計	8,142,200 円		
	財源	特定財源	0	0	70	7,858	委託料	8,142,200 円		
		一般財源	0	0	8,072	21,700				
	職員人件費 ②		0	0	1,732	3,980				
	総事業費（①+②）		0	0	9,874	33,538				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		式典支援金						
6年度以降の事業費見込		0								

会計名		橋りょう補強事業				担当部	建設部		
一般会計						担当課	道路建設課		
款	項					目	担当係	道路整備第1係	
8	2					4			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防災						
		施策の内容	災害に強いまちづくり						
	目的	避難路に架かる橋りょうの耐震化を促進することで、地震発生後の道路機能を確保し、避難する市民の安全性を高める。		主たる内容	橋りょう耐震補強工事 37橋				
	位置づけ	関連計画 地域防災計画、地震対策アクションプラン							
		根拠法令	道路法						
		対象者	市民		事業期間	平成24年度～令和7年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・橋りょう耐震補強実施設計 4橋 ・橋りょう耐震補強工事 2橋 （築地用水3号橋、築地用水5号橋）		—		・橋りょう耐震補強工事 1橋 （弘法橋）		・橋りょう耐震補強実施設計 3橋 ・橋りょう耐震補強工事 1橋 （弘法橋） （R4線越分含む）	
成果		計画的に耐震補強工事を行うことができた。							
課題		橋りょう補強について関係機関と調整する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		避難道路内の橋りょうの耐震化率（%）			62.2	62.2	62.2	64.9	81.1
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費①		25,829	0	56,232	217,760	合計	56,232,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	96,760	委託料	2,992,000円	
		一般財源	25,829	0	56,232	121,000	工事請負費	53,240,000円	
	職員人件費②		3,957	0	3,840	5,741			
	総事業費（①+②）		29,786	0	60,072	223,501			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							